



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER  
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17  
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN  
 PHONE (06)344-1717

カット 柴田 健

MARCH, 1989 VI-9

## 1988-1989 THEME

IP 共に歩き友となる	WALK BESIDE ME AND BE MY FRIEND
RD 核心 拡充 活発 改革	VISION VOICE VITALITY
DG 理想を追い求めよう	WE GROW OLD BY DESERTING OUR IDEALS
CP クラブコミュニケーションの輪を強めよう	LET'S MAKE OUR CLUB OPEN & FRIENDLY

EMPHASIS THIS MONTH ASF・YMCAサービスの月

### 今月の聖句

時はもう昼の12時ごろであったが、太陽は光を失い、全地は暗くなって3時に及んだ。そして聖所の幕が真中から裂けた。そのとき、イエスは声高く叫んで言われた、「父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます。」こう言ってついに息を引きとられた。百卒長はこの有様を見て、神をあがめ、「ほんとうに、この人は正しい人であった」と言った。この光景を見に集まってきた群衆も、これらの出来事を見て、みな胸を打ちながら帰って行った。すべてイエスを知っていた者や、ガリラヤから従ってきた女たちも、遠い所に立って、これらのことを見ていた。  
 ルカによる福音 23章 44-49節

### 統計 (STATISTICS)

会員数	37名	BF	現金	切手
第1例会会員出席	19名	2月	0	5,032pt
第2例会会員出席	9名	累計	81,000	18,050pt
メークアップ	3名			
出席率	59.45%	ゲスト&ビジター	4名	
		メネット&コメント	4名	

### 2月の切手提供者

鈴木君、山田君、田中君、湯浅君、上月君、黒田君、杉浦君、平田君、藤原君

### ※特記

平田会長より1,110gの大量の切手提供がありました。

### 今月の例会当番

第6班：山村、森、中村、横山、杉浦、皆本の皆さん  
 準備、後片付け等ご協力お願いします。

第1例会：1989年3月15日(水)PM 6:30-8:30

場所：堂島YMCA国際 社会奉仕センター

第2例会：1989年3月22日(水)PM 6:30-8:30

場所：同上

### 3月第1例会プログラム

(今月のテーマ：クラブライフ)

日時 1989年3月15日(水) PM 6:30~8:30  
 場所 堂島YMCA国際・社会奉仕センター

司会 横山君

1. 開会 会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読 森君
4. ゲスト紹介 会長
5. 日々の糧
6. 晩さん
7. スピーチ

「カリフォルニアの21のフランシスカ ミッション」

(株)日本設計事務所大阪支店

常務取締役支店長 内藤 徹男氏

8. 3分間スピーチ  
 「私のクラブライフ」 平田由喜子メネット
9. 蔭山君入会式
10. お誕生日祝い
11. ニコニコ献金 ドライバー
12. 役員会、委員会報告、YMCAニュース
13. 閉会 会長

### ★★ゲストスピーカーのご紹介★★

本日の講師 内藤徹男氏は、現在関西学院の新しい校舎の建替えという壮大なプロジェクトの設計をまかされておられる建築家です。その豊富な海外視察の御経験の中から、カリフォルニアの各地に建てられているスペイン宣教師達の活動拠点「フランシスカ・ミッション」について、その歴史と、建築の面から解説して頂く、興味深いお話をお聞かせいただける予定です。



## 2月例会報告

今月のテーマはTOF。世界の飢えた人達に思いを寄せその食費分をCSに献金するという趣旨どおり断食例会を持ちました。

プログラムの中心はYMCAの留学生を囲み、その生活や意識を通じて国際化を考える時間になりました。「留学生は今」というテーマで5人の方に日本での日常について語っていただきました。「留学生仲間が集まっての話題では、日本人に対する批判や不満が多くなりがちだ。しかしその多くは個人の対人関係の問題で、国にいても起きるような問題まで日本人の精にしたりする人がある。不満を言っている本人のほうに問題がありそうな時もある。だから『日本人は〜』などと一括りにした言い方はしないよう気を付けている。」「国という単位で考えると如何しても過去の歴史の影を残すが、お互い一人の人間として接すると、同じアジア人として例えば儒教的な考えなど、相通じ分りあえることも多い」「日本の印刷技術を学びたいと思って、7年間日本語を独学した。図書館で借りた会話の本を全部自分で書き写してテキストにした。」「それにしても日本人のものを大切にしない生活ぶりには一言いいたい。」など、鋭い視点・他面的な考えで問題指摘をされあらためて考えさせられました。また、これだけの内容がしっかりした日本語で発表されたことにも目を見張る思いでした。

### 出席者名

『尹鐘根(韓国)・陸慶花(韓国)・羅崇徳(中国)・スティーブ=アロノウ(アメリカ)・譚貴霞(台湾)・谷口直美(YMCA)』[敬称略]



続いてのプログラムは田中君ファミリーの海外旅行お土産話。メンとメネットはイスラエルの聖地巡り、コメントの美果さんはポルトガルへの語学実習と別行動の旅であったとのこと。どちらもあまり日本人が足を伸ばさない国での体験だけに、珍しい話題も多く時間切れが残念でした。後日機会をみて、アンコールを是非との声もありました。断食でおなかはずいていたが、知的な満腹感で一杯の時間が持てました。

最後に来年度のクラブ役員候補について選考委員から提案があり、別記の通り全員一致で承認されました。

(山田記)

89~90年度 センテナルクラブ役員

- \* 会長 山村 幸明
- \* 副会長 黒田 敏之 掛江 康一
- \* 書記 佐藤 勝雄 三浦 直之
- \* 会計 上月 英子

## HAPPY BIRTHDAY

藤本 史郎君 3.14  
谷川由美子メネット 3.17  
鈴木 謙介君 3.26

## 会長メッセージ

平田 雅利

3月に入りめっきり春らしい毎日になってまいりました。木々の芽もふくらみ楽しい季節になってまいりました。我々のクラブの2月度の例会は多くの外国のお客様をお迎えしました。日本にて、大変な御苦勞をされながら明るく、楽しく、勉学に励んでおられる皆様方の楽しいお話をお聞かせいただきつい日頃忘れておりました人々がおられる事を思いだし、我々もこの様な方々に少しでもお役に立てばと感じます。今月は4月と変更いたしました。クラブライフの月にさせていただきます。この機会に我々メンバーの間をもう一步深くつなげていきたいものです。4月1日2日には芦屋の大丸荘にて楽しいステータイトを過ごしたいと思います。楽しいプログラムがいろいろと準備されています。ぜひ、全員の方々の出席を!

## 第4回 中西部評議会について

平田 雅利

去る2月4日小島中西部長の進行により大阪YMCAにて開催されました。当日決定されました事は、

- ①3月15日当クラブ例会へ中西部長が公式訪問されます。
- ②5月初担当主事懇談会の実施。
- ③6月24日中西部新旧合同評議会開催。
- ④ASF特別献金 一人当り800円を4月末に納入する事。又、3月度第2例会(3月22日)には小島中西部長が当クラブを公式訪問され、日本区分割の件などの話し合いをさせていただきますので、多数の皆様の出席をお願いします。

## ☆☆プログラム委員からのお知らせ☆☆

年間予定では、3月のテーマが「ASF YMCAサービス」、4月が「クラブライフ」でしたが、都合により3月と4月のテーマが入れ替わります。従って、来月の第1例会プログラムが用意されています。ご期待下さい。

- ・「今、YMCAとY'Sとのパートナーシップについて」

橋本志之 大阪総主事

- ・「我がクラブのYMCAサービスの働き」

山田孝彦 YMCAサービス担当委員



鈴木 謙介

2. 日本区分割の問題はこの数年、各地でいろいろの集まりが重ねられている模様。十二分に、数多く意見を出し合って、疲れる程まで討議することが第一。この場合注意を要するポイントを挙げてみますと、この役に当たるメンバーには、ワイズメン運動そのもの、知識と理解に富み、特にYMCA運動との関わりについて経験を持ち単に、日本区のみでなく広汎な世界的展望を持ち合はせた見識ある人を得ることが大事だと思う。言うまでもなく、これらの人々だけでやることではない。全国各地のクラブメンバーのいろいろの声を吸い上げることに留意せねばならないが、今の段階で、私の感じている印象は、自分の部だとかクラブとかの利害の方が先立っていて、仮に分割が是だとして、そのとき自分のところの受ける影響や結果を余りに意識しすぎているのではなからうか。勿論ホンネとタテマエの見分けが大切だが、同じことが、国際、エリア、区への役員選挙の機会の増加ということが目的とされる様なことは、どちらかといえば、分割の理由化とされるのでなく、結果としてそれらの機会が増えるということとなることを望みたい。

分割案の答申の委員会が既に活動をしておられるのでその結果に注目していきたい。

## CS委員会より

田中 稔二

2月中旬に下記の方々より年賀切手シートの提供がありましたので、日本区に送付いたしました。

提供者(枚数) 谷川(6) 藤原(1)  
上月(17) 横山(15) 計 39枚

## WELCOME TO OSAKA

第44回ワイズメンズクラブ国際協会

## 大阪日本区大会

と き  
1989年6月17日(土)~18日(日)

と ころ  
大阪市中央公会堂・ロイヤルホテル  
ホストクラブ  
大阪高機ワイズメンズクラブ



## 私の家族

堀 利満

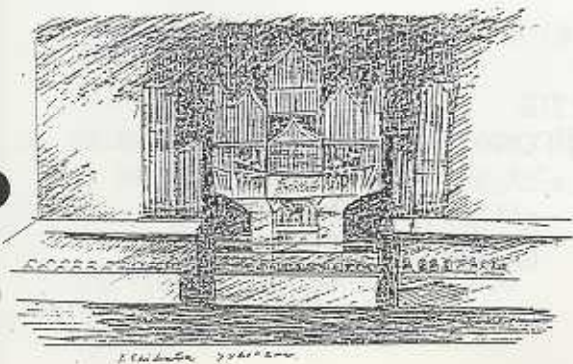
関西新空港建設を横に睨み乍ら、「コスモポリス」先端産業ゾーンやら、関西第二の規模になるという和泉中央丘陵ニュータウン、泉北高速鉄道の南進等々、最近とみに騒然としてきた泉州に住みついて我乍ら驚いた事に早や10年以上にもなります。和泉市緑ヶ丘という随分辺鄙だったこの町も、近くに女子短大が出来たり、光明池の次の駅が出来たりするそうで、まあ結構な事だと思ふ反面、丁度丘の上にある我家から見晴らせる夕陽がアカアカと沈むはるか数キロ先の緑なす丘陵も住宅街になる由。その丘までの間はすべて田や池や自然林で、和泉山系「父鬼」(テッチョニと発音!)に通じる市道が走っているだけといった風情。住む者にとっては結構なこの環境も、堂島へ通り私にはちょっとした苦行でござんして、特に閉所恐怖症の小生にはく満員電車は生来耐えられず、やたら早く家を出て車で通っている次第です。昔は殊勝にも英会話をBRUSH UPなどしながら運転したもんですが、最近はLAZYになって、もっぱら音楽を楽しみ、渋滞に入ったりするとやけくそで大きな口をあけて一緒に唱ったりしています。

## 閑話休題

父方の祖父は私が満州で生れる2カ月前に亡くなり、父は私の長男が生まれる2カ月前に亡くなりました。亡父は男ばかり3人兄弟の長男でしたが、吾が子達も男ばかりの3人兄弟。なにか因縁めいたものを感じ乍ら、高3、高1、中1のnaughty kidsを囲み、目下の所は、5人家族でやっております。長男などは「僕の長男が生まれる年に、お父さん死ぬんチャウカナ」などとおぞましい事をケロツとして云っております。3人共、皆和泉市に来てから小学校に入ったのですが、この辺りの方言はなかなかユニークでありまして、小さい息子が、私達の話聞いた後などに、大真面目な顔をして、「ああ、ホーケ(そうかい)」と答えた時には、夫婦して顔を見合わせ、荷物をまとめて早速引越そうかと、真剣に考えたものであります。

多少なりとも土地に馴染もうと、和泉ロータリークラブに入会させてもらっていますが、リュウとしたROTARIANが「なにケ、堀さん、一緒に行くんケ?」「はあ、ご一緒させて戴きますが」どうも——この「ケ」には馴染めません。

さて、先程「目下の所は5人家族で」と云いましたのは、吾が家には小生の母親と、しばらくロンドンに住んでいた家内の母親が共に一緒に住んでいるのですが、家内の母は横浜の長女の所にここしばらく行っておりまして、私の母は、堂島のオフィスの近くにありますがマンションに住んでもらっています。小生が酒を喰ってマイカーに乗れずにタクシー代の節約と睡眠時間の確保の為





## THE CENTENNIAL

などと称して、かつてあのホテルこのホテルと外泊を致し、山の神様に角が生えたためであります。今は如様な折りには垂乳根のもとで眠る事に相成りました。会社の昼休みなども時間の許す限りここに帰り、偽り看板なしの“オフクロの味”を載せておりますが、この事は小生のDIETに限りなく貢献するという余録を生んでおります。合掌。2人のパーソンの居なくなった部屋やキッチンを利用して、子供達にも海外に目を向けさせようと、長男の高校関係でUSAからの生徒のホームステイを引き受けたり、はたまたENSENADA (MEXICO) でウニを取ってる友人の所へ次男を夏休みに一人で1か月以上もアルバイト(内緒!)に行かせたりしてみましたが、余り効果らしいものもなく、目下放任パパをきめこんでおります。山の神の話が最後になりましたが、実は高校時代の同窓生でありまして、当時では珍しく(?)大学生同志のいわゆる学生結婚でありました。家内は京美(現京都芸大)、小生は関学と、高卒後西と東に別れましたが、京都によく通ったものですから、我々の結婚式に出てくれた30人足らずの日本画科の連中とは、小生まで同窓生の様な顔をして今もつき合っております。息子達の小さかった頃は、一旦遠ざかっていた画業も、今は復活し、パーソンの部屋をアトリエに臨時改造したり、文化の暗黒大陸・泉州にあって市のコミュニティーセンターで日本画教室を担当したり、家で画塾を開いたり、夫も子供も顧みず(これを云うからすぐケンカになるのですが)頑張っております。出展前などになると粗大ゴミは邪魔らしく「アート、今晚はお母さんトコに泊まってネ」でもまあ、家族全員元気一杯で何とかやっております。

次は山村さんをお願いします。



南米(アルゼンチン・ブラジル)を旅して 2

中村 隆幸

### アルゼンチンタンゴの素晴らしさ

市内観光で、印象に残った場所はホテルから南に約2、3Km行ったボカ地区であった。この地区はあのサッカーで有名なマラドーナの属したクラブチームがある所で、そしてあの哀しくしかも激しい愛の詩、タンゴの発祥の地でもある。そして色とりどりの原色で塗られたトタンや板切れて作られた家が多数立ち並び、タンゴの名作である「カミニート」(小径という意味)が流れており、この曲がボカのまちそのものを表現しているように感じられた。アルゼンチンタンゴショーも大きく分けて大劇場で観るものとレストランシアター的なショーがありますが、ほとんどのショーは午後10時頃より開演し、終わるのは大体午前2時頃である。私は「カサ・ブランカ」という劇場で見物したがパリの「ムーランルージュ」や「リド」といった感じのするミュージカル風のタンゴショーであった。一方、レストランシアター的なタンゴショーを「ビエホ・アルマセン」というクラブで観た。ダンサーの流れるような踊りとバンドネオンというアコーディオンに似た楽器の美しい音色に感激し、両方のショーを見物できたのは最高の思い出だった。レストランシアター的なクラブで有名な「ミケランジェロ」には、残念ながら今回は行く機会がなかった。

### アルゼンチンの名物料理

アルゼンチンの名物料理は、アサードと呼ばれる独特の焼肉である。もともとは「ガウチョ」というアルゼンチンの大草原、パンパで働くカウボーイ達の料理であった。子牛のあばらの部分を塩だけで味付けをし、丸焼きにして客の目の前で好きなだけ切ってくれる焼肉料理である。値段は日本円にして1,000円ぐらいであるが、量が多いので自分の好きな肉だけを食べて、それ以外は捨ててしまうというぜいたくな食べかたをするのが特色である。また「バリジャータ」という焼肉もあり、これは腸の臓物やレバーの塩焼の盛り合わせである。

次号に続く

### ◎お詫びと訂正

2月号 2頁「CS・TOFについて」の投稿者名に誤字がありましたことを、お詫びし訂正申し上げます。

誤 田中稔次君

正 田中稔二君